

# 私たちの浅子校



佐世保市立浅子小中学校 学校だより No.9  
平成 27 年 6 月 10 日 (火) 校長 三浦 優子  
〒857-0431 佐世保市浅子町 58 番地 TEL68-2052

〈校訓〉感動 自主 忍耐

〈教育目標〉学び合い 認め合い 高め合う子どもの育成

〈学校経営方針〉

小中併設校のよさを生かし、いのちを輝かせる  
子どもを育てる浅子校の小中連携

前号でお知らせしましたように、6月は「いのちを見つめる強調月間」です。本校の取組について、随時お伝えしていきます。



## 6 / 3 (水) 授業参観 (全学級道德の授業)



小学校 1・2年



3・4年



6年



中学校 1年



3年



## 6 / 3 (水) 家庭教育講座「スマホ時代の子どもたち」

講師に、佐世保市 PTA 連合会長・県メディア安全指導員の長島様をお迎えし、携帯電話やインターネットの利用に係る事件に子どもが巻き込まれるケースが増えていること、これらの事件から子どもたちを守るために家庭でできる指導について教えていただきました。



## 6 / 1 (月) いのちを見つめる校長講話



### 「いのちを輝かせて生きる」とは、ということだと思いますか？

(事前に、6年生と中学生にアンケートをとり、当日紹介しました。ここでは紙面の都合で、一部だけ御紹介します。)

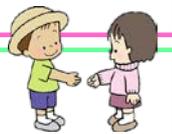
- どんな時でも優しくすることを忘れないこと
- 今を精一杯生きて、お母さんやお父さんに恩返しをすること。
- 目標をもって生きること。
- 夢に向かって頑張る生きること。
- 喜びを分かち合うこと。
- 心を成長させながら生きること。
- 自分の命を大切に、人の命も大切にする。尊重しあって生きること。
- あきらめずに夢を追いかけて、つらいときも不安な時も、命を捨てたりしないで生き続けること。



韓国沖で旅客船が沈没し、多くの修学旅行生らが亡くなったセウォル号事件から1年。

自らの命と引き替えに高校生たちを助けた若い乗務員と残されたお母さんの今を伝える新聞記事【今も癒やされない喪失感 「あの日に戻って『行くな』と言いたい でもいつかは娘のように人助けを」と、「私だけの天使」(アカペラ)で、「生まれてきてくれてありがとう。あなたは私の命そのものです。」

「命がけであなたを守ろうとする家族がいます。あなたの隣人にも家族がいます。あなたのいのち、そして隣人のいのちを大切に、みんなでのちを輝かせて生きていきましょう。」と私からのメッセージを伝えました。



**まるちゃんのひとりごと** 浅子校の子どもたちは、しっかりした考えをもっているね。まるちゃんも感心しちゃった。